

令和5年度

さいたま市教育委員会委託事業

ちょうかくしょうがいしゃ

しゃかいきょうようこうざ

聴覚障害者のための社会教養講座

特別講演 「聴覚障害者の歯科医師と

えんげ

嚙下障害の関わりについて」

主催：さいたま市教育委員会・さいたま市聴覚障害者協会

協力：さいたま市手話通訳問題研究会

★日 時：令和5年8月5日（土）午後2時から4時まで

（受付開始：午後1時30分から）

★場 所：与野本町コミュニティセンター・多目的ルーム（小）

歯科医師 ★講師：^{う え だ}植田 ^{ま り こ}真理子氏



プロフィール

佐賀県佐賀市出身

5歳日本大学耳鼻咽喉科で感音性難聴と診断

6歳：感音性難聴で同時の聴力は両耳85db、

箱型補聴器での聴力では約50db、学校と家庭

でのコミュニケーションは読唇術、補聴器

S58年：福岡歯科大学入学補聴（補聴器）

高校時代に手話を覚えるが、大学は読唇術、

補聴器のみ

H2年：福岡歯科大学卒業

H3年～：大阪市M歯科医院

H5年：佐賀市U歯科医院で10年間

H16年～27年：佐賀市至誠会病院勤務（摂食・嚙下リハビリテーション認定士・認知症ケア認定士を取得）

*H27年：両親の介護の為、退職→介護職

R1年～3年：大阪府：S歯科医院

R3年～4年：横浜I病院勤務（途中から右側人工内耳）

R4～現在：八王子の訪問歯科（現在：両側人工内耳（カンソ2）使用）

★参加費：無料

※手話通訳・要約筆記（OHC）が付きます。

★問い合わせ：さいたま市聴覚障害者協会事務局

FAX 048-653-7324

社会教養講座担当 横島 義博